

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

九州 平石

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市 沢川町 三丁目 5 番地 7
(沢川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878

全国に 木育が広 がった。

教育としての木育は
学校教育として生涯
学習体系として位置
づけられるものであると
思う。

森林や木材利用について
正しく認識し適切な
管理を進めることので
きる市民の育成は国家
の課題であり学校教育
の重要な長期的視点に
立つた木育だけでなく
市民講座やワークショップ
等の短期的一過性の
取り組みを含めてさま
ざまなチャンネルを利用
した学習の機会を増加



木育の持つ生理的
親和性(あたにかみや
肌触りの良さ)を
環境的親和性(酸素
貯蔵機能発熱性)として
家庭・地域・社会
を木質化していく
ことにより
人間の回復



の活性化を百
指す公益性
をもった活動
である。
木のおもちゃや木
材を使うものは
「より活動が子
どもの育成に
大きく関わり
意味のあるもの
である」と水は
木に開かれた
環境での学び
育ちを支える
ポイントは
木育活動として
重要である。



▲ 平石児童館
の小学生
「子ども環境保
全委員会」出席の様子

2016/06/12

こうした木育の
取り組みは
地域ブランドの
向上に貢献
している。
安全・安心な
子育て環境
質の高い教育
環境・社会環境
の整備は地域の
担い手を育む
基礎を築く。
子ども環境保
全委員会
自分達でつく
ったパネルも
ばらして何分
片付くか？



旭ヶ丘児童館
へ子ども環境保
全委員会へ
出席の子ども達
パネル完成
しかりと次の
人達に渡すので贈呈へ

